

## 【研究ノート】

# テキスト (印刷教材) 科目の 課題難易度調査結果 (1)

**キーワード:** テキスト科目 正誤問題 穴埋め問題 レポート 論述  
難易度 教育実践

小関慶太 (KOSEKI Keita)

## 1. はじめに

八洲学園大学生涯学習学部で開講しているテキスト (印刷教材) 科目担当科目において、2021 年度より正誤問題や穴埋め問題を出題に変更を試みた。他の通信課程を有する大学等では中間試験教材手引きで正誤問題を出題や穴埋め問題、レポート問題が出題されている<sup>1</sup>。

正誤問題や穴埋め問題、多肢選択問題は「簡単」と評されることが多いが、一見すると簡単であるが学生のコメントを見ていると「テキストをしっかりと読んだ」「全問正解できず悔しかった」記述が確認できる。本調査は、2022 年度春期履修学生<sup>2</sup>を対象に学生に難易度に関するアンケートを科目修得試験終了後 (提出期限後) に無記名で実施した。

## 2. 調査方法

アンケートフォームは、Google フォームを活用した。履修学生向けにメッセージを配信した。それぞれ科目習得試験終了後に試験講評ともに配信、実施している。

配信メール

- ・ 6 か月コース/2022. 8. 10 配信
- ・ 3 か月コース/2022. 9. 7 配信

---

<sup>1</sup> 論者は、2018 年度から 2021 年度まで小田原短期大学通信課程 (千葉地区) テキスト科目の日本国憲法、2018 年度教育制度論を担当していた。また 2023 年度より日本国憲法・教育制度論の添削指導を担当する。

<sup>2</sup> 本調査は、2022 年度秋期履修学生にも実施した。6 か月コース、第 3 学期コースの対象者にメッセージ配信は、2023 年 2 月 14 日に行い、回答締切を 3 月 30 日に設定している。第 4 学期、3 か月コースの対象者には、3 月 9 日前後に配信予定で、締切は 3 月 30 日とする。

質問項目 (全科目共通)

【福祉と法】 第一回課題の難易度						
	1	2	3	4	5	
簡単	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	難しい
<hr/>						
【福祉と法】 第二回課題の難易度						
	1	2	3	4	5	
簡単	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	難しい
<hr/>						
【福祉と法】 科目修得試験の難易度						
	1	2	3	4	5	
簡単	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	難しい

【全員】 課題の出題形式で望ましいものを選択してください (複数選択) \*

- 正誤問題 (正誤理由記入なし)
- 正誤問題 (正誤理由記入あり)
- 多肢選択問題
- 穴埋問題
- 要約問題
- 感想文問題
- 論述問題
- 別のフォームで回答済み

最後に課題の出題形式に関して複数選択で聞いた。

質問項目は1 (簡単) ・ ・ 3 (普通) ・ ・ 5 (難しい) と設定をした。

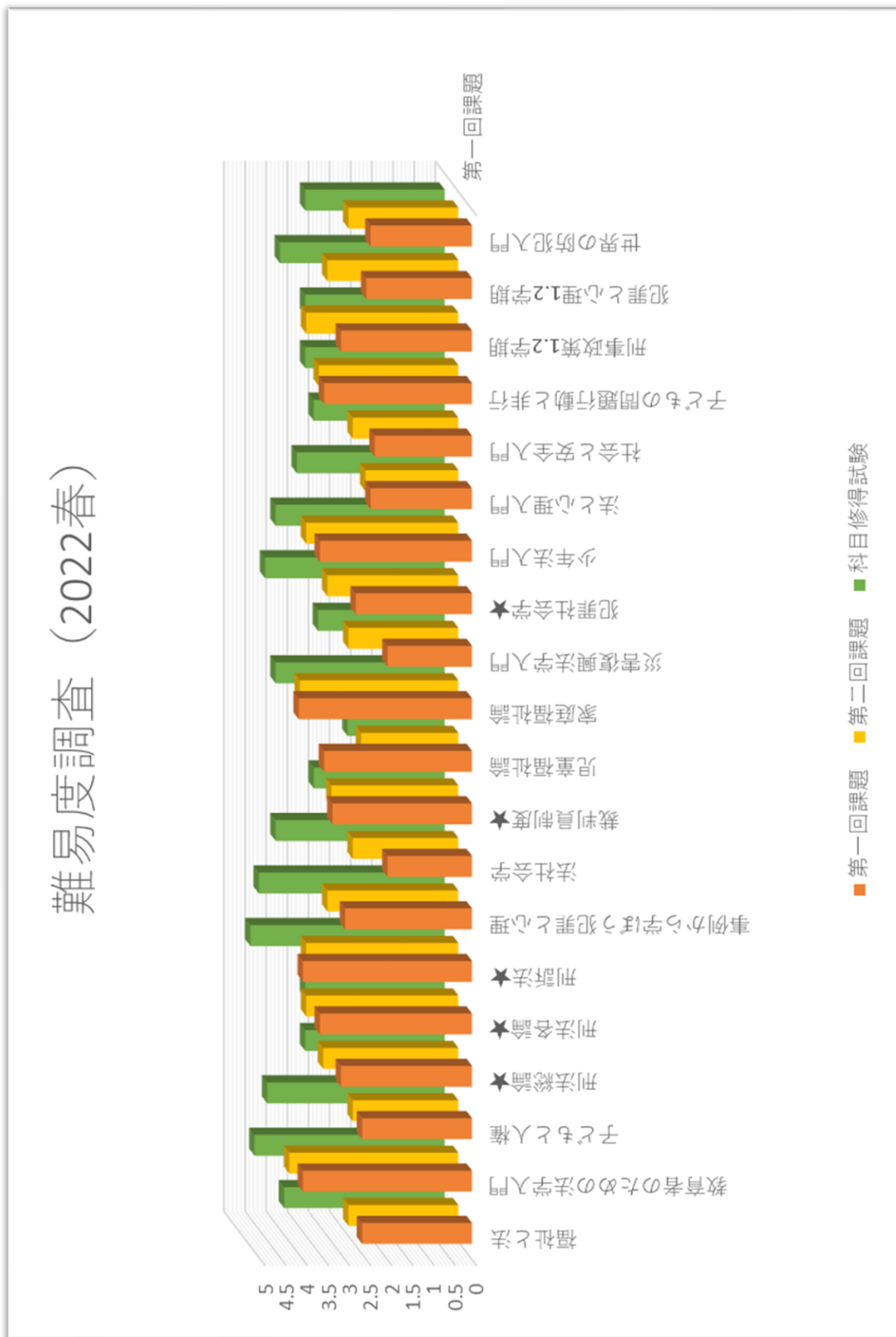
### 3. 調査結果

全体的な回答状況は6か月コース科目70件、3か月コース科目18件であった。回答率は、科目によって異なるが多かったものとして「教育者のための法学入門(50%)」「福祉と法(42%)」「はじめて学ぶ刑法各論(47%)」であったが母数が少ないこともありパーセンテージで見ると回答数が多いように見える。少なかった科目は「世界の防犯入門(7%)」「法と心理(14%)」「少年法入門(16%)」である。教養科目の履修者数はそう多くはないので本調査結果が科目全体の難易度と解すること難しい懸念が残る。

結果を見る限りでは、出題者として中央大学通信教育課程の課題出題方法を参考<sup>3</sup>に最初の課題は、入門(基礎的な問題)、次の問題は応用的な問題を意識して出題している。単純に難易度のみを見ると、第一回より第二回課題の方が難易度高いと回答を見る限り、意図は伝わっている問題であると解される。

---

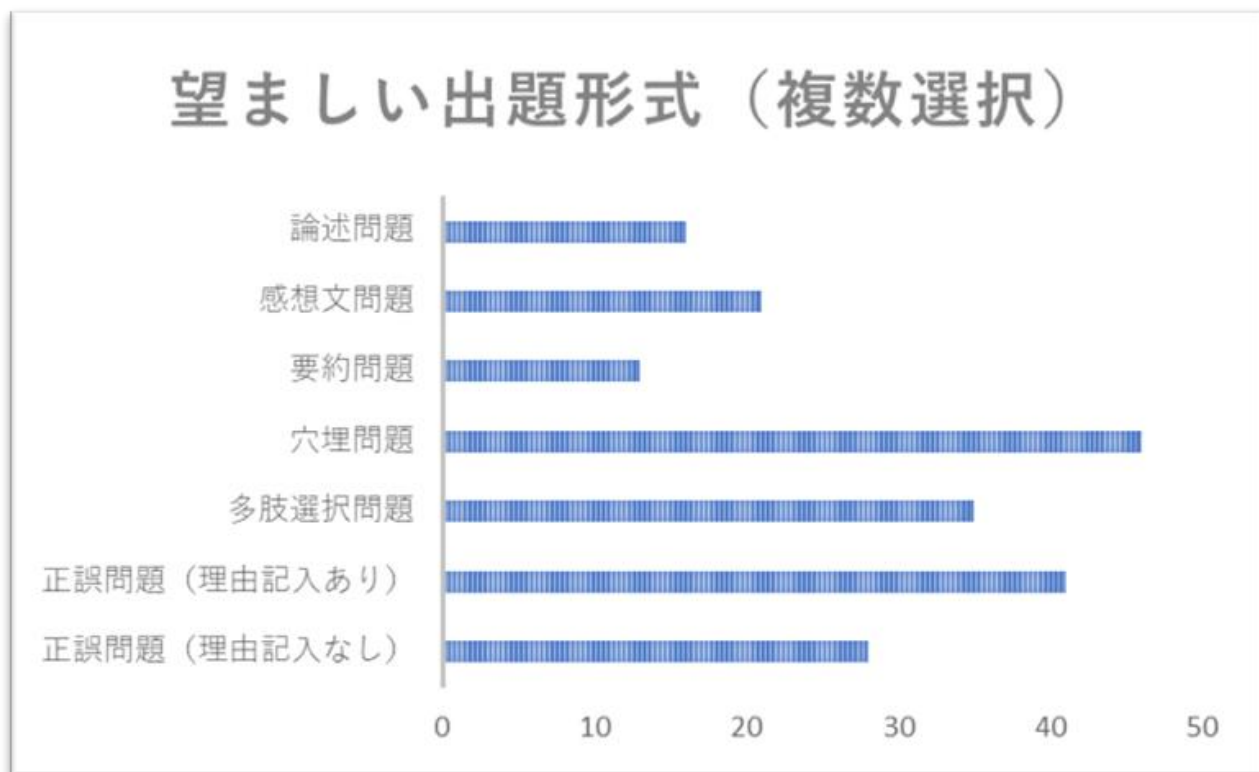
<sup>3</sup> 論者は、2015年度より中央大学法学部通信教育課程インストラクターを兼任している。



★「はじめて学ぶ」シリーズ

#### 4. むすびに代えて

履修者数 (母数) と回答率より本調査データが履修生全体の意識とは言えないものの、正誤問題や穴埋め問題が「安易な問題」ではなく、出題の目的である印刷教材をしっかりと学び科目修得試験でその結果<sup>4</sup>が示されている。



学生が望ましい出題形式の半数近くが「正誤問題」であり、その中でも「理由記入あり」「理由記入なし」が半々となる。科目や課題の回数によって求める場合と求めない場合がある。任意で記載する学生も増えてはいる。記入があれば、どこで間違えているかがわかるが、書かれていないと間違っている部分がわからず指導が難しいこともある。書き方に関して目的得た内容からテキストのページ数のみを記載すると様々ではある。また正誤問題の課題として、テキストに書かれている問題を応用して出題しすると「書かれていない」と解答するケースがある。一字一句、同じ記述を探すのではなく内容の理解に至っていない様子が窺える。この点は今後の課題である。

科目習得試験では、論述問題かアクティブラーニング (以下「AL」) を意識した課題を出題している。論述問題では、2022 年度秋期より「はじめて学ぶ刑法総論」で白雪姫の物語の流れを刑法総論による学びによる分析する問題を出題した。また「はじめて学ぶ刑法各論」ではサルガニ合戦を刑法各論による学びより検討する問題を出題した。多くの学生が楽しみながら懸命に取り組む様子が窺えた。AL 型論述問題を「事例から学ぼう犯罪と心理」で出題している。映画・ドラマを見て実際の犯罪との比較分析を行う問題である。刑事ドラマ、映画

<sup>4</sup> 具体的な集計はしているがここでは数値は示さない。科目によって多少の波はあるものの全体として上昇傾向である。

『リカレント研究論集 (3)』(2023. 3)

テキスト (印刷教材) 科目の課題難易度調査結果 (1) (小関慶太)

(海外含み) を視聴し、関連する犯罪を調べてまとめている。特定の映画を指定することも考えたが、DVD レコーダーを有しない学生もいる点や近隣にレンタルショップがない場合も想定すると自由に選択するのが望ましいと判断した。

今後の課題として、第一回・第二回課題で正誤、穴埋め型問題を出題し、科目修得試験で学生にとって難易度が高いレポート方式の論述問題を出題することで「諦めてしまう」「投げ出してしまう」ケースを少しでも減らすためには、どのようにするのが良いのかを検討していく必要があるのではないだろうか。

一例としては、科目習得試験を試験方式に変更し、期日に指定する時間内で試験を受験する方法も考えられるが、時間制限の中で解けきれぬか、指定日に受験できなければ結果として代替レポートを出題すると考えると、「試験方式」の魅力は特にない。時間制限なく取り組める「レポート方式」の方が魅力的であると解される。

本教育実践は、継続的に教育研究を進めていきたいと考えている。そのためにも今後も履修学生に難易度調査を継続的、連続的に 2022 年度秋期、2023 年度春期も同様の調査を行い、比較を行いよりよい教育体制を考えていきたい。

受理日：2023 年 1 月 30 日

小関 慶太

八洲学園大学 生涯学習学部 准教授